

カンボジア奮戦記-“ライスマ通信外伝”

私は9月1日からライスマの国際部で働き始めた日本人ミスターNOBUです。

カンボジアにきて約2週間がたちますが、カルチャーショック全壊暴走モードで頑張っております。

ご飯はお世辞にも美味しいとは言えません、交通ルールはあつてないようなもの、大雨で会社の前の道はこれがメコン川か！？と勘違いしちゃうような状態！そして何より一番嫌なのが暑い暑い暑い。もうこれは灼熱地獄です。

しかししかし、このような中でも頑張っている人たちがいます。

彼らにとってはこれらのことが当たり前。むしろこの自然に感謝し、楽しみ、前向きに生きている人たち、それがカンボジア人！

今日はそのごく一部の人たちを紹介します。

彼はライスマのクライアントのお子さんマウちゃん、マウちゃんは平日は学校に行き学校がないときは漁師のお父さんの手伝いをして過ごしています。

彼の将来の夢は日本に行き色々な技術を学び、技術者になりたいと！

マウちゃんの家にあったのは中古の日本のブラウン管テレビ。

彼はそのテレビでやっていた番組で日本を知り日本に強い憧れを抱きました。私が行ったときは日本語でこんにちはと挨拶してくれました。

このマウちゃんが大学で勉強して日本の企業で活躍できるように、ライスマでは融資で彼のお父さんの事業の成功を応援したいと思います。また、日本がマウちゃんのような子供たちにずっと憧れてもらえるような国になるように、一日本人として頑張りたいと思います。

彼たちはライスマのスタッフ、左がチームリーダのピャックダイさん、右がライスマが誇るトップセールスマン、マツトさんです。

マツトさんは一人で200人を超えるクライアントを抱えておりこの日も大忙し、プノンペンを西へ東へ大移動、やっとお昼ごはんと思ったら2時過ぎ。郊外の食堂で川魚とチキン、ピーマンの炒め物、白米、ドリンク、この日は私を含め4人で食事をとり全員で5ドル2000リエル、日本円で660円！安い～

食事の後も顧客回り、この日は8件回りました。カンボジア人のバイタリティーに感服しました。

